

結腸、上・中部直腸切除術入院計画表No. 1

様

経過	手術3日前～2日前まで	入院日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	2日目	3日目
目標	手術の準備ができる。	看護師と相談しながら手術の準備ができる。	手術前後の自分の状態がイメージできる。	手術前後の自分の状態をイメージできる。	遠慮なく苦痛を訴えることが出来る。手術後の状況が理解され、安静が守られる。	行動の拡大の必要性を理解し、取り組むことが出来る。	日常生活の拡大。	
食事	インパクトを飲んでもらい、食べ物は摂れません。牛乳・ジュースは可能です。		消灯時までにはOS-1を250ml飲んでいただきます。21時以降は、水・茶・スポーツドリンクのみになります。	OS-1を起床から6時半までに250ml飲んでいただきます。午前時以降水も飲めません。	翌日の回診後、医師の許可が出るまで絶飲食です。	回診後、医師の許可が出れば水分が開始になります。	3分粥です。	5分粥です。
安静度					ベッド上安静です。 	最初は看護師と一緒に歩きます 		制限はありません。
排泄			手術室に行く前に、排尿を済ませておきます。		手術中に尿を出すための管が入ります。	トイレまで歩行できれば、尿の管を抜きます。。抜いた後、自分で尿量を測定してもらいます。		
清潔		臍の処置をした後、入浴してください。			からだを拭きます。 			背中のチューブが抜ければ、シャワーに入れます。
点滴・薬		入院日に現在内服されている薬と薬の内容が明記された用紙またはお薬手帳を忘れずにお持ちください。	手術中に輸血が必要になったときのために、輸血が体にあうかどうか採血を行い、確認しておきます。	午前中に点滴を開始します。	手術中、背中に痛みどめのチューブが入ります。痛みが強い時には鎮痛剤を使用できますのでお知らせください。	24時間点滴を行います。	消化を助ける薬が開始となりますので、飲み終わったら、継続することもあるので、なくなったらお知らせください。	
検査・治療		不足している検査がある場合には、血液・尿・レントゲン・心電図・呼吸機能・CTなどの検査をすることがあります。入院中は、血圧・体温・脈拍の測定を適宜行います。		血圧、体温、脈拍測定を行います。 	酸素吸入、心電図モニターを装着し、血圧・体温・脈拍測定を夜間も行います。吸入を午前・午後、夜に行います。	酸素吸入は指示にて止めます。回診後心電図が外れます。採血とレントゲンがあります。		
説明・指導	タバコは手術後の痰を多くしますので、一時的にやめましょう。	T字帯を1枚、OS-1という飲み物を1本準備して下さい。(1階売店で購入できます。)平オムツも1枚用意してください。担当看護師より手術の説明があります。		歯磨きを行い、点滴をする前に手術衣に着替えます。家族の方は、病室またはラウンジでお待ちください。	手術後、手術室にて家族の方に説明があります。深部肺静脈血栓予防のストッキングを履いています。床ずれ予防のため、体の向きを変えましょう。			
その他		よりよい入院生活のため、今までの生活についてお話をお聞きます。		時分に手術室へ行きます。 	手術後、1日だけ詰所の前の部屋に変わります。一晩ご家族の付添も出来ますので、希望される方は看護師にお伝えください。	背中に痛みどめのチューブが入っていると尿が出にくくなります。その時は背中の痛みどめのチューブが抜けてから尿の管を抜きます。	食事開始時は、摂取方法についてパンフレットを用いて説明していきます。	

結腸、上・中部直腸切除術入院計画表No. 2

4日目	5～6日目	7日目
	排便コントロールができる。	退院準備ができる。
7分粥です。	全粥です。	
	しばらくの間、下痢や便秘になったりします。排便状況を医師や看護師にお知らせください。	
		退院後、入浴できます。
	元々飲んでいた内服薬が再開になります。(医師の指示のもと)血液をサラサラにする薬も指示が出てから再開になります。 	
		採血を取ります。 
		医師の許可があり次第退院できます。退院時、次回外来受診の予約票をお渡しします。痛みどめの処方が必要な際にはお知らせください。
	傷口にはダーマボンドという保護材がついているので、自然に剥がれるまで、剥がさないでください。	診断書、証明書が必要な方は外来に提出して下さい。 
外一結腸、上・中部直腸切除一患 砂川市立病院:外科		